

しろやま

【学校教育目標】

学校HP QRコード→



ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生きぬく子どもの育成

御船小学校 学校便り

令和8年6月8日（月）

文責：校長 木山 邦博

ペットボトルキャップの回収にご協力を!

本年度、児童会の環境美化委員会では、ペットボトルのキャップ回収に取り組んでいます。昨年度までは、学校内の環境美化に取り組んでいましたが、今年は委員会で話し合い、学校内だけでなく世界の環境問題にも目を向け、新たに取組を始めたものです。児童集会で委員会から全児童に呼びかけたところ、早速たくさんのキャップが集まっています。集めたものは、回収事業者に渡しますが、最終的には、世界の子供たちのワクチン接種に係る費用に使われるそうです。ご家庭でもご協力をお願いします。



PTAからワイヤレスアンプを寄贈いただきました

先日、PTA からワイヤレスアンプを寄贈していただきました。これまで使用していたものは、平成10年購入のもので、不具合が発生し、困っていました。5月11日のPTA 運営委員会で承認され、購入いただいたものです。28年近くも使用していたことに驚きましたが、アンプは最新の機器で、パソコンやタブレットともワイヤレスで接続できるものです。学校行事等で活用していきます。ありがとうございました。



校歌から学ぼうシリーズ②

今回は校歌2番の歌詞に出てくる「御船川」です。

御船川は、暴れ川でよく氾濫もしましたが、この地に豊かな恵みを与えました。

なる なる なるよ みふね川

ゆたかにめぐる 村々に

みのりのあきを よびながら

ああ あの水の 力には

どんなひみつが こもるだろう



この川の土木に携わったのが加藤清正です。もともと御船川は、矢形川に合流していましたが、あまりにも洪水が多いので、加藤清正が緑川へと流れを変える大工事を行いました。そして、2つの川の間には、多くの井出（用水路）がくまなく引かれ、米作りに役立ったといわれています。また、御船川沿いには、白壁の土蔵が立ち並び、20軒を超える酒蔵が並んでいました。今もみふね街かどギャラリー付近は当時の面影が残っていますね。ところで、歌詞の「なる なる なるよ」はどんな音だと思いますか。いろいろ想像してみるのも楽しいかもしれません。